

科目名	教化学実習					単位	1.0
担当教員	安藤 弥・伊東 恵深・仏教学科専任教員						
授業形態	実技・実習	開講期間	集中	配当年次	1	授業番号	9105

●授業のテーマ

出家とは何か―釈尊観― ならびに 教化とは何か―真宗の人間観―

●到達目標

真宗大谷派教師として重要な「教化」について問い続ける姿勢を身につける。

●学習内容(授業概要)

講義テーマのもと、前期の学外研修日（6/11（木）予定）に、真宗大谷派名古屋別院もしくは知文会館において一日研修を、後期の学外研修日（10/8（木）予定）の前日夕方より学外研修日当日午後までの日程で、真宗大谷派名古屋別院において、一泊研修を実施する。

前期は仏教学科3回生の真宗大谷派教師課程履修者（含む他学科・大学院生の履修者）ならびに別科生、後期は仏教学科4回生と真宗大谷派教師課程履修者（含む他学科・大学院生の履修者）ならびに別科生が受講対象であり、学科・別科の専任教員が指導にあたる。

また、7月1日（水）成徳忌・謝徳会、11月27日（金）大学報恩講、12月13日～18日の名古屋別院報恩講（いずれかの日の午後に参拝）、2016年1月7日（木）修正会、以上4回の法要行事への出席・参加が、教化学実習の一環として評価される。

●学習内容(授業計画)

前期学外研修日に教化学実習Ⅰを実施予定。

後期の学外研修日（前日夕方より一泊）に教化学実習Ⅱを実施予定。

1～2週間前に掲示にて詳細を発表。そこで示される事前レポートの課題に取り組み、実習前の指定された日時までに、文学部研究室に提出すること。

実習に参加後、指定された日時までに、事後レポートを作成し、文学部研究室に提出すること。

その他、4回の法要行事に出席・参加すること。

●準備学習・事後学習の内容

準備学習・事後学習ともにレポートが課される。

●成績評価方法・基準

実習への参加、事前・事後レポートの提出が必須であり、4回の法要行事への出席・参加状況を加味して、総合的に評価する。

●テキスト（必携）

事前に指示する。

●参考文献／その他
実施時に指示する。

●履修上の注意

真宗大谷派教師課程履修者は必修であり、履修登録を忘れないこと。有僧籍者は指定する法衣装束が必要になりますので準備のこと。また、掲示で詳細の発表、連絡を行うので、特に注意して下さい。